

県民の あゆみ

特集(p.4)

直売所から伝える「おいしい山形」の魅力

奏であう人(p.8)

山形から発信するものづくり

やまがた伝説(p.16)

こんにゃく



直売所のスタッフの方と、採れたての新鮮な野菜や果物、加工品を出荷している農家の皆さん。消費者にも生産者にもメリットのある直売所は、農林水産物の販路を拡大していくうえで、重要な役割を担っています。

(撮影協力:かわにし森のマルシェ)

県政できごと ア・ラ・カ・ル・ト

こんなことが
ありました

à la carte

4 暖冬でも山形の冬を満喫!

第5回やまがた雪フェスティバル(1月31日～2月2日 寒河江市)

県内各地で開催される雪まつりの先陣を切って、今年で5回目となる「やまがた雪フェスティバル」が行われました。今シーズンは記録的な雪不足となる中、『YAMAGATA2020』～前へ～』をテーマとしたシンボル雪像や山形新幹線新庄延伸20周年特別雪像「とれいゆつばさ」の展示のほか、真冬のスイカ割りやサクランボの種飛ばし等のアトラクション、ラーメンをはじめとした雪中屋台を楽しもうと、県内外から22万5,000人の来場者でにぎわいました。



5 「県民が集い・学ぶ 本のまち」を目指して

県立図書館リニューアルオープニングイベント(2月1日、2日 山形市)

大規模改修工事の着工から1年半を経て、県立図書館が装いを新たに開館しました。1日は、朝から多くの来館者が訪れる中、オープニングセレモニーが行われ、吉村知事が「県民の『知の拠点』としてだけではなく、『交流の拠点』としても、より多くの方から親しまれる図書館となることを期待します。」と挨拶しました。その後、日本文学研究者のロバート・キャンベルさんの記念講演のほか、各種企画展示やワークショップなど、2日間にわたりさまざまな催しが行われました。

※ 新しい図書館の詳細は13頁をご覧ください。



1 さらに交流に向けて

日本ベトナム文化経済観光交流事業(1月11日～14日 ベトナム社会主義共和国)

吉村知事は、政府関係者らとともに日本とベトナムとの相互交流の促進を目的とする「日本ベトナム文化経済観光交流事業」に参加しました。シンポジウムや知事交流会では、本県の特徴や強みを紹介し、今後の交流拡大を働きかけました。また、ベトナム在住の本県ゆかりの方々との意見交換を行うとともに、本県のPRの協力をお願いしました。この訪問を機に経済、観光、人材等の分野での具体的な取組みにつながるよう、交流の拡大を図っていきます。



2 去年の悔しさを胸に、今年こそJ1昇格を!

モンテディオ山形2020キックオフイベント(1月12日 天童市)

昨シーズンは前年から大きく順位を伸ばし、プレーオフ進出を決め、J1昇格まであと一歩と迫ったモンテディオ山形。選手・スタッフと約2,200人のファンが集い、今シーズンのキックオフイベントが開催されました。石丸監督をトップとする新体制と新ユニフォームが発表され、代表して山田選手が「去年の勢いを生かし、さらに進化する。一緒に戦いましょう!」と挨拶しました。皆さん、3月14日山形開幕戦はスタジアムに足を運び、大きな声援でJ1昇格を後押ししましょう。



©MONTEIDIO YAMAGATA

3 首都圏の皆さんに山形の「上質ないいもの」をPR

県産品ブランド力強化に係る首都圏プロモーション(1月24日～26日 東京都渋谷区)

首都圏における県産品の認知度向上と販路拡大を目指して、渋谷スクランブルスクエアで「上質ないいもの山形フェア」を開催しました。24日は山形が誇る工業デザイナー奥山清行氏の講演、山形のものづくりやデザインの魅力について吉村知事と有識者の方々とのトークセッション等が行われました。2日目からは首都圏の消費者向けに県産品の展示と販売を行ったほか、本県的美食・美酒が味わえる「やまがた桜バル」も開催し、大好評でした。



にっこり 知事室!



県民の「新文化芸術拠点」が遂にオープン!

県都の玄関口・山形駅の西口で二階目をひく白い壁と黒の切妻屋根。蔵を思わせる県総合文化芸術館「やまぎん県民ホール」が、いよいよ3月29日にオープンします。

館内に入ると、木の温もりに溢れた空間と、光に浮かぶ山形組子や最上川の流れを描写した緞通が迎えます。東北屈指の客席数を誇る大ホールは、米沢織と山形の木工技術が融合した深紅の座席と、紅花が描かれた鮮やかな緞帳が見事です。もちろん、音響の良さは折り紙付き。舞台も広く、これまで県内での開催が難しかったオペラ等の公演も可能なんです。本県の食や県産品をすよ。本県内外に発信するカフェやショップが併設され、今秋にはレストランもオープンします。まさに、山形県のものづくり技術と伝統の技、そして、本県の魅力がぎゅぎゅつと詰まった施設です。

開館後は、多種多様なイベントが切れ目なく開催される予定です。多くの方で賑わい、交流が深まる場所となつて、県民の皆さんの元気と活力が生まれる源になつてほしいと願っています。ぜひ皆さん、足をお運びください。お茶室 吉村知事室

開館後は、多種多様なイベントが切れ目なく開催される予定です。多くの方で賑わい、交流が深まる場所となつて、県民の皆さんの元気と活力が生まれる源になつてほしいと願っています。ぜひ皆さん、足をお運びください。お茶室 吉村知事室



大ホール(2001席)



外観

直売所から伝える「おいしい山形」の魅力

県では、農林漁業者の所得向上に向けて、県産農林水産物の販路拡大、商品価値を高める6次産業化を進めています。その拠点として、今「直売所」が注目されています。

特集



◎新鮮な農産物・加工品を販売する「道の駅米沢」の直売所

直売所の魅力アップに向けて

①研修会等の開催

県では、直売所に関わる方を対象とした研修会や講習会を開催しています。商品の充実、販売促進用POPや包装による売り方の工夫をテーマにした研修会では、店内のディスプレイや商品配置の改善につながり、販売額が増加したケースもあります。

また、野菜ソムリエを講師とした研修会では、消費者に「おいしい」

情報をわかりやすく伝えられるように、旬の野菜の情報やレシピを学び、接客力を向上させています。

②商品開発への支援

県では、直売所の品ぞろえの充実のため、食品製造業者や観光事業者等と連携し、県産農林水産物を使った加工品開発を支援しています。例えば、直売所での季節限定商品の開発のため、県が研究を進めている



直売所の出荷者向け「シャインマスカット」の栽培管理講習会

新しい食品加工技術の提案や、原材料入手先の情報提供、各種工程の改善などへのアドバイスを行っています。

また、さらなる商品開発をバックアップするため、平成30年3月には「食品加工支援ラボ」を山形市の県農業総合研究センター内に整備し、新たなチャレンジを応援しています。

③直売所が取り組む差別化への支援

直売所の品ぞろえの強化と目玉商品づくりに向けて、紫や黄色、オレンジ色など、カラフルな野菜をそろえることも有効です。県では、農家の方に、こうした目でも楽しめる「彩り野菜」の栽培指導を行っています。また、伝統野菜の認知度向上も兼ねて、伝統野菜を使用した加工食品のトライアル販売等を支援しています。



季節限定商品「りんごのコンポート」の試作

直売所の魅力とは？

直売所は、新鮮でおいしい農林水産物や特色ある加工品など、その地域の魅力を伝える数多くの商品であふれています。消費者には、生産者の顔が見え、安心して新鮮な地元産の農林水産物を買うこと、生産者には、直売所を通じて消費者の生の声を次の生産や商品づくりに生かせることが直売所のメリットです。直売所は、消費者と生産者をつなぐ役割を担っているのです。

最近では、地場産食材を使用したレストランを併設したり、地域の特産品を集めたイベントを開催したりと、地域経済を活性化させる拠点としても機能しています。

本県の直売所の状況

現在、県内には172店もの直売所が開設されています。近年は、道の駅と一体になった直売所も増えてきています。また、野菜や果物の販売だけでなく、それらを使った新たな加工品・土産品の開発も進められています。県外観光客の観光ルートに、直売所が組み込まれるなど、県

直売所の魅力を発信中！

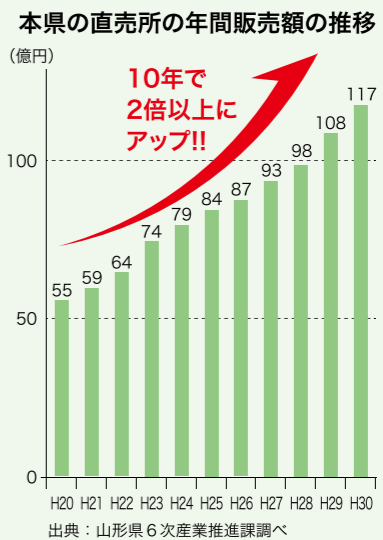
魅力あふれる直売所の情報は、スマートフォン向けアプリやホームページで発信しています。アプリ「おいしい山形産直ナビ」では、県内直売所の営業時間、地図、取扱品目等の情報を掲載しているほか、旬の時期や直売所のイベントも知ることができます。ホームページでは山形が全国に誇る農林水産物について、エピソードを盛り込みながら紹介しています。ぜひご覧いただき、実際に直売所を訪れてみてください！

スマートフォン向けアプリ「おいしい山形産直ナビ」

iOS アプリ Android アプリ

特定の地域で戦前から種を守り、栽培された農作物が伝統野菜です。現在、85品目あります。こうした希少な野菜と出会えることも、直売所を訪れる楽しみの一つです。

外の方からも高い人気を得ています。県内直売所の販売額は右肩上がりが増えており、平成30年には約117億円と、10年前と比べ倍増しています。農林漁業者の所得向上を図るうえで、直売所は重要な販売拠点なのです。



直売所の課題

新鮮でおいしい農林水産物が期待される一方で、他の季節に比べて生鮮品が少ない冬場の品ぞろえが課題です。また、多くの直売所がある中で個々の直売所が埋没せず、自らの魅力を高め、発信していくことが求められています。

解決策として、通年販売可能な加工品の開発、伝統野菜・郷土料理などの地域独自の食文化の発信や、県内外の直売所とのネットワーク化による品ぞろえの充実などの差別化に取り組んでいる直売所もあり、県は、こうした取り組みを後押ししています。

地域全体の活性化に向けて

このように、県では、直売所を核とした地域全体の活性化につながる取組みを進めています。今後も「おいしい山形」の魅力を広げ発信しながら、県産農林水産物の魅力向上や販売促進に取り組んでいきます。

県内外の直売所間の交流

昨年10月17日、18日に「第18回全国農林水産物直売サミット」が鶴岡市を中心に開催されました。全国から直売所関係者約300名が参加し、特色ある直売所の取組みや、冬の品ぞろえの充実等について熱心に情報交換が行われました。また、県内各地の直売所の現地視察も行われ、本県の直売所のPRとともに、直売活動の活性化につながる良い機会となりました。

ぜひご覧ください！

県政テレビ番組 **いきいきやまがた** 放送のご案内

「未来につなげる山形の農林水産業！」と題して県内民放4局で特別番組(30分)を放送します。

テレビユー山形(TUY)
●3月8日(日)午後3時～

さくらんぼテレビ(SAY)
●3月15日(日)午後4時～

山形放送(YBC)
●3月22日(日)午後2時～

山形テレビ(YTS)
●3月28日(土)午後2時55分～

※放送時間は変更になる場合があります。

▶問い合わせ ◎6次産業推進課 ☎023-630-2560

自転車事故の無い安全で安心に暮らせる社会に

～「山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」制定！～

近年、自転車事故による被害や高額賠償事例が目立ち、社会的な問題となっています。本県は全国トップクラスの自転車保有県ですが、自転車損害賠償責任保険等（以下、自転車保険）の加入率は全国ワースト2位の低さとなっています。

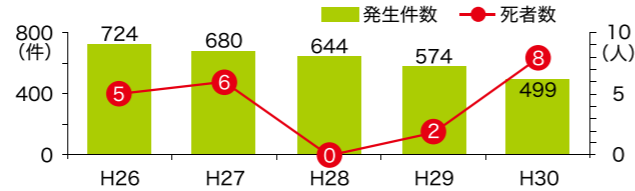
県では、県民みんなが自転車を安全に利用し事故の無い社会を実現するために、「山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を昨年12月に制定しました。

自転車についての本県の状況

1世帯当たりの平均保有台数	1.53台(全国2位)
自転車保有世帯の割合	77.9%(全国3位)
自転車保険への加入率	21.9%(全国ワースト2位)

出典：平成30年度自転車保有実態に関する調査報告書（一般社団法人自転車産業振興協会）

県内の自転車事故の発生状況



この条例で、県民の皆さんにご協力いただきたいこと

今年
7月から!

交通ルールを守りマナー向上に心掛けてください

【自転車の利用者】

- 自転車は、道路交通法に規定する**車両**です。
- 車両の運転者**であることを自覚し、交通ルールを守り、日頃から自転車マナーの向上に努めてください。
- 雪国**の山形では、道路状況（積雪、凍結等）を考慮して、自転車の利用を判断しましょう。



安全・防犯上の対策をお願いします

【自転車の利用者※】

- ライト、ブレーキ、タイヤなどは定期的に**点検**し、必要に応じて**整備**しましょう。
- 事故に備え、**ヘルメット**を着用しましょう。
- 自転車を離れる際は**施錠**。また、自転車は**放置せず**に**管理**しましょう。



自転車保険への加入が義務付けられます

【自転車の利用者※】

- 自転車保険は、事故により損害賠償責任を負った場合の**経済的負担軽減**と、**被害者の保護**のために加入いただくものです。
- 自転車に乗る人は、年齢や利用頻度に関わらず**必ず自転車保険に加入**しましょう。

全国の高額賠償事例	賠償命令額
自転車を運転していた男子小学生が歩行中の女性と衝突。女性は意識不明の寝たきり状態。	9,521万円
男子高校生が自転車で道路を斜め横断、対向車線を自転車で直進してきた男性と衝突。男性は重大な障がい。	9,266万円
男性が自転車で下り坂をスピードを落とさず交差点に進入、横断歩道を横断中の女性と衝突。女性は死亡。	6,779万円

家庭では自転車の交通安全教育をしっかりと

【全ての県民の皆さん】

- 自転車を安全に正しく使うには、**家庭の果たす役割がとても重要**です。
- 子どもたちに交通安全や自転車のルール、マナーをしっかりと**教え**、交通事故を防ぎましょう。



※自転車の利用者が未成年の場合は、その保護者の方

この条例をきっかけに、誰もが安全安心に暮らせる山形県にしていきたいと思います。
県民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

▶問い合わせ ◎ 消費生活・地域安全課 ☎023-630-2682

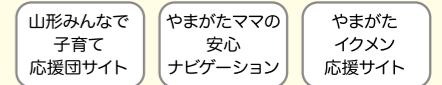
山形県 自転車条例

山形での子育てを応援します！

～便利になった「やまがた子育て応援サイト」をご活用ください！～



昨年8月、子育てに関する情報をよりわかりやすく一体的にお伝えするため、県が運営する子育て関連3サイトを統合し**やまがた子育て応援サイト**としてリニューアルしました。



Point 1 スマートフォンでも見やすく、操作しやすいデザイン

これまで、パソコン向けだったサイトが、スマートフォンにも対応したデザインになりました。スマートフォンでの操作性が格段に良くなり、外出先でも子育て情報を収集しやすくなりました。また、新たに「シェアする」ボタンを追加。気になった情報をSNSで家族や友人と簡単に共有できます。



Point 2 必要な情報に素早くアクセス！

子育てのステージ別、育児の目的別に情報を探すことが出来るようにしました。欲しい情報に素早くアクセスし、入手することが可能になりました。



Point 3 「やまがた子育て応援パスポート」もこのサイトから



特典(例)

- 料金の割引
- ドリンクサービス
- ポイント率アップ
- 預金金利アップ
- 景品プレゼント

？やまがた子育て応援パスポートとは？

県内の子育て家庭を応援するサービスです。協賛店にパスポートを提示するだけで、お子様や子育て家庭にうれしい特典が受けられます。親御さんだけでなく、対象家庭の同一世帯の方であれば、どなたでも取得でき利用可能です。

！昨年3月からパスポートが変わりました！
新しいパスポートへの切替えは、やまがた子育て応援サイトで！

①より使いやすく！

パスポートが「紙」から「電子画像」になりました。スマートフォンで提示するだけでサービスを受けられます。

②対象範囲を拡大！

旧：小学6年生までの子ども又は妊婦のいる家庭

新：**18歳未満**の子ども又は妊婦のいる家庭

※18歳に達してから最初の3月31日を迎えるまでの日

登録店舗
3,462！
(令和2年1月末時点)

ご注意ください！

旧パスポートの有効期限は**今年の3月末まで**4月以降は使えなくなりますので、電子画像のパスポートへの切替えをお願いします。



これからも、山形の子育てに関する便利で新しい情報をたくさんお伝えしていきます。ぜひ、ご利用ください。アクセスはこちらから▶



▶問い合わせ ◎ 子育て支援課 ☎023-630-2668



撮影場所◎米富繊維株式会社

奏であう人

かな

vol.53

わたなべ よした
渡邊 吉太 さん (山形市)

◎宮城県出身、山形市在住。株式会社アトリエセツナ代表取締役・デザイナー。東北芸術工科大学を卒業し、スウェーデン国立芸術工芸デザイン大学に留学後、東京でのフリーランスデザイナーを経て、2005年に同社を設立。家具から店舗まで大小さまざまなスケールのデザインを手がける。山本製作所ベレットストーブ「OU(オウ)」は、2019年のグッドデザイン賞、山形エクセレントデザイン大賞を受賞。

わたなべ あゆみ さん (東根市)

◎埼玉県出身、東根市在住。文化服装学院を卒業後、2011年に米富繊維株式会社への入社と同時に山形へ移住。2010年に立ち上げた自社ブランド「COOHEM(コーヘン)」の営業を担当。2019年に東京・馬喰町でCOOHEM初の期間限定店舗のオープンに携わった。取扱い店舗の開拓、展示会でのバイヤー接客、生産の手配のほか、COOHEMブランドの小物製品の企画・開発にも力を入れている。

keyword

山形から発信するものづくり

伝統工芸を生かした長く愛される普遍的なデザインに挑み、地域に根ざした産業から新しいブランドを展開するお二人に、山形をけん引する「ものづくり」についてお聞きしました。

デザイン開発から2年の歳月をかけて完成したベレットストーブ「OU(オウ)」。間伐材などを粉碎して圧縮成型した木質ベレットを使用する環境にやさしいストーブ。製品左側の椅子は、同じく吉太さんがデザインを手掛けた「ファイチェア」。



「ニットツイード」と名付けられた独自の編地で作られるCOOHEM。雑貨は服に使えなかった編地を再利用し制作される。写真は、あゆみさん自身がお客様との会話のきっかけにしたいと、最初に発案した名刺入れと長財布。

ものづくりにかける思い

吉太さんは、高校で建築設計、大学で工芸、スウェーデンでは家具づくりを学びました。山形で起業した理由をこう話します。

「大学時代、工場を訪ねる機会が多く、優れた職人がいる山形で、腰を据えて一からものづくりに取り組みたいと思いました。これまで学んできたことを生かし、家具・プロダクト・店舗・住宅などジャンルを決めつけず、求められるものに幅広く応えていきたいと考えています」。

一方のあゆみさんは、専門学校で洋裁を専攻し、その中でも大好きだったニットに関わる仕事に就くことを希望していたそうです。

「見知らぬ山形の地でやっていくかという不安はありましたが、説明会で見た編地の技術力の高さが、入社を決め手となりました」。

新しい編地の開発から編み立て、縫製、出荷までを一貫して行える山辺町ならではのものづくりと、ブランドの魅力発信に取り組んでいます」。

伝統の技術と若いデザインを融合

あゆみさんが、COOHEMの雑貨づくりについて言葉を続けます。

「服を作った際の残りや傷物などの編地を再利用し、ブランドの魅力をより気軽に知ってもらえるようにと企画し、自ら型紙を起こして試作したのが始まりでした」。

現在は名刺入れ、財布、クッション、バッグなど、12アイテムまで広がりました。スリッパは、生産地として知られる河北町のメーカーとのコラボ製品だそうです。

吉太さんがこれに答えます。「多くの評価をいただいた『OU』も、山形でしか作れないものを世界へというコンセプトからスタートしました。ストープは、冬以外の季節も生活空間にありますから、使用しないときも愛でられるものとして、工芸品の美しさを取り入れたいと考えました」。

その結果、本体は山形铸件で铸造され、脚部分には山形県産杉材による成形合板を採用、繊細で上品な

たずまいが実現しました。

「COOHEMも、複数の異なる糸を編み立てる『交編』という独自に培ってきた技術と、若手の感性・デザインが融合して生まれました。

千年近い歴史を持つ铸件を取り入れた『OU』と共通するものがあります。」とあゆみさん。

山形のものづくりを世界に伝えたい

吉太さんは、COOHEMの商品を目の当たりにして、世界に通じる可能性を感じると話します。

「伝統は常に更新されてこそ、伝統であり続け、普遍性を持つことができます。また、多種の素材、技術など、山形のものづくり企業をつないでいくことで新しい可能性が見えてきます。その役割を少しでも担っていかれたらと思っています」。

あゆみさんも大きくうなずきます。「山形に来て一番驚いたのは、工場が多いこと。日常生活のほとんどのモノが山形で作られているとさえ感じます。この技術力と魅力をもっと県外、世界に発信していきます」。





本会議であいさつする金澤議長

～ Kengikai Dayori ～

第77号 県議会だより

12月定例会の概要

令和元年12月定例会は、12月3日から20日までの18日間の会期で開催され、令和元年度一般会計補正予算をはじめ知事提出の29議案などを可決・同意しました。

また、1件の請願を採択するとともに、1件の意見書を可決し、国に提出することとしました。

主な質疑内容は、次のとおりです。

代表質問の質疑内容

伊藤 重成 議員
自由民主党
最上郡選挙区
12月6日

- ◆ 防災・減災対策について
- ◆ 次期総合発展計画等を踏まえた組織体制の見直しについて
- ◆ 地方自治法改正に伴う内部統制制度の導入と監査の見直しについて
- ◆ 更生保護の取組みについて
- ◆ 障がい者の就労支援について
- ◆ 石巻・新庄・酒田道路について
- ◆ 農林業に係る専門職大学の設置について

一般質問の主な質疑内容

遠藤 寛明 議員
自由民主党
上山市選挙区
12月9日

- ◆ 県立山形新館高校への観光科の設置について
- ◆ パラリンピックを契機とした共生社会づくりについて
- ◆ スポーツを用いた健康長寿社会づくりについて

高橋 淳 議員
県政クラブ
鶴岡市選挙区
12月9日

- ◆ デジタルイノベーションに対応した災害情報の提供について
- ◆ 鳥獣被害対策の推進について
- ◆ 「健康寿命」の延伸に向けた県の対応について

佐藤 聡 議員
自由民主党
鶴岡市選挙区
12月9日

- ◆ スマート自治体の実現について
- ◆ 自転車通学時のヘルメット着用について
- ◆ 庄内海岸砂防林等の保全について

予算特別委員会の主な質疑内容

遠藤 和典 議員
自由民主党
山形市選挙区
12月11日

- ◆ 歳入増加に向けた長期債・超長期債による資金運用について
- ◆ 水道事業の将来見通しについて

原田 和広 議員
県政クラブ
山形市選挙区
12月11日

- ◆ 山形県におけるMaas導入の取組みについて
- ◆ 児童養護施設・児童心理治療施設について

阿部 ひとみ 議員
無所属
酒田市・飽海郡選挙区
12月12日

- ◆ 地域高規格道路「新庄酒田道路」の整備について
- ◆ 「つや姫」の輸出拡大に向けた取組みについて

森谷 仙一郎 議員
自由民主党
天童市選挙区
12月12日

- ◆ 「山形ラ・フランス」のGI登録に向けた現在の状況と今後の取組みについて
- ◆ 本県のりんご産地を守るための来年度に向けた対策について

五十嵐 智洋 議員
自由民主党
長井市・西置賜選挙区
12月11日

- ◆ 今後の若年女性減少対策について
- ◆ 県内企業における育児休業取得に対する理解促進について

矢吹 栄修 議員
自由民主党
天童市選挙区
12月12日

- ◆ SDGsについての考えについて
- ◆ 歯の健康に向けた歯科検診の充実について

木村 忠二 議員
県政クラブ
米沢市選挙区
12月13日

- ◆ 北方領土問題に対する県の認識について
- ◆ 県内製造業を支える工業技術センターの機能強化について

大内 理加 議員
自由民主党
山形市選挙区
12月13日

- ◆ 医療的ケアの必要な子ども達の支援について
- ◆ 韓国における歴史と文化の交流について

12月定例会 常任委員会での質疑応答から

県議会には6つの常任委員会があり、本会議から付託された議案の審査のほか、所管事項についての質疑が行われます。

今回は、12月17日、18日に行われた審査の内容について紹介します。

総務常任委員会

第四次山形県総合発展計画（仮称）の中間報告における人口減少対策について、現計画との改善点及び強化した点は何か。

◆ これまでの人口減少の抑制策を続けていくことに加え、当面の人口減少に対応し、地域の活力を落とさないよう、イノベーションを通じた産業振興や国内外との交流による外部活力の取込みなどに力を入れていく。

文教公安常任委員会

令和元年12月より厳罰化された「ながら運転」の検挙状況と今後の取組みはどうか。

◆ スマートフォン等での運転中の通話や、画像を注視しながら運転したこと起因する交通事故が増加傾向にあり、厳罰化後約2週間で101件を検挙している。今後もホームページやマスコミを通じた周知広報を行いながら指導取締りを強化していく。

厚生環境常任委員会

ひきこもり対策は、部局横断的な組織による取組みが必要と考えるがどうか。

◆ ひきこもりには、一人ひとりに合わせた対応が必要であり、様々な支援メニューの中で、一番適切な支援につなげることが重要である。今後、各部署等の支援内容を共有化し、ワンストップで最も適した支援を紹介できる連携体制の構築を検討していく。



委員会の様子

農林水産常任委員会

庄内浜産水産物の利用拡大に向けた取組状況及び水産試験場の栽培漁業の取組状況はどうか。

◆ 「やまがた庄内浜の魚応援店」は124軒まで増え、庄内浜の魚を積極的に取り扱い、魅力をPRしてもらっている。また、水産試験場では、トラフグの種苗生産やヒラメの放流技術の開発等に取り組んでおり、今後も、放流魚の回収率を高めるための効果的な放流技術等の研究に取り組んでいく。

商工労働観光常任委員会

次期山形県国際戦略の策定に向けた現在の検討状況はどうか。

◆ 本県の国際展開の方向性を示す同戦略については、令和2年度からの5年間で計画期間とする新たな戦略の策定に向けて、国際・経済・観光の各分野の有識者等で組織する検証委員会で議論を行っており、現在は市場分析及び検証を進めているところである。

建設常任委員会

平成30年8月豪雨、令和元年の山形県沖地震、台風19号により被災した県管理公共土木施設復旧工事の進捗状況はどうか。

◆ 豪雨関連の復旧工事の発注率は、令和元年11月末現在の最上管内の箇所ベースでは概ね8割となっている。山形県沖地震関連は、国の災害査定が終了し、令和元年度中に工事発注を行うこととしている。台風19号関連は、12月に国の災害査定が終了している。被災箇所のある早期の復旧に向けて取り組んでいく。

北海道・東北六県議会 議員研究交流大会

1月24日、福島市で開催された交流大会では、基調講演「広域連携によるインバウンド観光の促進」を聴講した後、3つの分科会で各道県が現状や課題を発表し、活発な意見交換を行いました。



分科会での発表の様子

「第4次山形県総合発展計画（仮称）」等の策定に向けた県議会講演会

12月12日、経済産業省商務・サービス政策統括調整官の江崎禎英氏を講師に迎え、『人生100年時代を生きる』～人口構造の転換と社会経済システムの見直し』と題して御講演いただきました。今後の総合発展計画に係る県議会の審査にあたって、様々なヒントを得ることができました。



講演会の様子

12月定例会で採択した請願

次期食料・農業・農村基本計画の見直しに関する件について

12月定例会で可決した意見書

新たな食料・農業・農村基本計画に関する意見書

県議会を傍聴しませんか？

県議会の本会議や委員会は公開されており、どなたでも傍聴することができます。

当日、県議会にお越しいただき、簡単な手続きをしていただくだけで入場できますので、ぜひお越しください！

お問い合わせ 023-630-2840



県議会の情報は、**山形県議会ホームページに** 満載です。**ぜひご覧ください!!**

- 1 定例会の概要や議会の日程
- 2 議会の生中継やこれまでの質疑の様様
- 3 可決した意見書・決議の内容
- 4 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- 5 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など

村山

紅花文化を巡る「やまがた雛のみち」

江戸時代、最上川舟運により富を築いた紅花商人たちは、上方等から多くの「雛人形」を山形に持ち帰りました。現在も、村山地域では旧家を中心に「享保雛」、「有職雛」、「次郎左衛門雛」や「古今雛」など華やかでさまざまな時代雛が300年以上にわたり受け継がれています。雛やひな市の一部は、平成30年5月に認定された日本遺産「山寺が支えた紅花文化」の構成文化財にもなっています。

これらの雛人形は毎年1月から5月にかけて公開され、実際に目にする事ができます。村山総合支庁では管内の市町と連携し「やまがた雛のみち」と題して、雛人形などの展示施設等(47箇所)を紹介しています。また、参加施設を巡り、スタンプを3つ集めると、抽選で東根温泉利用宿泊券等の豪華プレゼントが当たるスタンプラリーも実施中です。皆さんも、早春の柔らかな日差しの中、紅花文化が薫る「やまがた雛のみち」を巡り、風情ある旧家や資料館で、お好みの雛を見つけてみませんか。



享保雛(河北町紅花資料館所蔵)



寒河江雛まつり(慈恩寺陣屋)

問い合わせ◎ 村山総合支庁地域産業経済課観光振興室 ☎023-621-8444

山形県のほっぺ

大阪

九州各地で山形の魅力をPR!

九州地方の百貨店を会場に東北観光物産展が開催され、山形県からもたくさんのお店が出店しました。1月2週目の博多阪急(福岡市)を皮切りに、鶴屋百貨店(熊本市)、トキハ百貨店(大分市)と3週連続で開催された物産展には、九州では普段なかなか買うことのできない東北の味覚を目標に、大勢のお客様がお越しくださり大にぎわい。山形の物産では、米沢牛を取り扱うお店などが人気でした。

また、東北の観光PRコーナーでは、県内各地の観光パンフレットを配布したほか、観光地のパネルや酒田の傘福の展示、先着100名様への雪若丸のパックご飯のプレゼントなど、趣向を凝らして、山形の魅力をPRしました。

「なぜ、大阪事務所が九州で観光PR?」と思われる方もいるかもしれませんが、実は大阪事務所は、山形県の県外事務所の中でも関西から沖縄県まで2府21県と最も広いエリアで活動している事務所なのです。

今後大阪事務所では、関西をはじめ、中・四国、九州、沖縄など広いエリアに向けて山形県の魅力を発信していきます。



鶴屋百貨店



トキハ百貨店

問い合わせ◎ 県大阪事務所 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 ☎06-6341-6816

新しくなった県立図書館をご紹介します!

1階は心地よいBGMに包まれながら誰もが気軽に読書を楽しめる空間、2階は静かな環境で読書や調べ物ができる空間と、利用目的に応じて使い分けができるようになりました。また、ラウンジやデッキエリア、カフェ・レストランを拡充するなど、居心地の良さにもこだわりました。そうした新図書館の魅力の一部をご紹介します。

◎図書館機能がパワーアップ!

館内の広さは約1.4倍、開架可能冊数は倍の36万冊に、閲覧席は約3倍の487席と大幅に増えました。

◎より使いやすく! ~開館日・時間が拡大~

	これまで	リニューアル後
休館日	毎週月曜 毎月第3日曜	毎月第1、3、5月曜 毎月第3日曜
開館時間	9:00~19:00 (4月30日まで)	9:00~20:00 (5月1日から)

※この他、年末年始・図書の特整理期間は休館

◎みんなに優しい図書館に

- 活字での読書が困難な方が利用できる対面朗読室を整備
- おはなしの部屋、こども用トイレ、授乳室等を備えた「こどもエリア」を新設

この他にも魅力が満載の新図書館。インターネット予約サービス、市町村立図書館との相互貸借サービスなど、来館できない方向けのさまざまなサービスも充実しています。多くの方のご利用をお待ちしております!

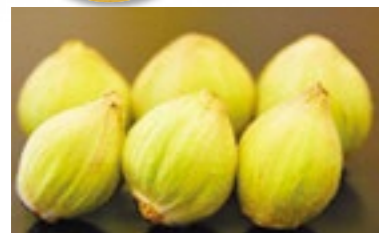
問い合わせ◎ 県立図書館 山形市緑町1-2-36(遊学館内) ☎023-631-2523

山形県立図書館

旬のやまがた
美食レシピ
recipe

豊かな香りで春を感じる

ふきのとう「春音」



ふきのとうは日本原産の植物で、ふきの花のつぼみです。全国に広く自生し、雪解け期に土から顔を出すことから、春の訪れを告げる山菜として知られています。

「春音」は市場性の高い山菜の生産拡大を目指し、県が育成・改良したオリジナル品種。黄緑色で締まりのある球形、豊かな香りと独特のほろ苦さが特長です。

夏の間、畑で株を栽培し、その株を降雪前に掘り上げて、雪の下で貯蔵しておきます。出荷時期に合わせて、1月から3月にかけてビニールハウス内の温床に並べ、10~20°Cで数日管理すると、つぼみが膨らみ、収穫期を迎えます。最上地域では新庄市や真室川町が主な産地です。今回は「春音」の特長である香りを楽しむレシピをご紹介します。

※ ふきのとうはあく抜きをして食べましょう。

問い合わせ◎ 最上総合支庁農業技術普及課 ☎0233-29-1323

ふきのとう
ジェノベーゼ風パスタ

●材料(2人分):

パスタ160g、春音4~5個、パルメザンチーズ(粉)30g、オリーブオイル50cc、ベーコン20g、にんにく1片、コンソメスープの素小さじ1

●作り方:

①春音は数分ゆで、その後、水にさらしてあくを抜く。②①とにんにくは乱切りにする。③②とパルメザンチーズ、オリーブオイル、コンソメスープの素を、フードプロセッサーで滑らかになるまで混ぜる。④ゆでたパスタ、炒めたベーコンと③をあえ、皿に盛り付けて完成。





試験

県職員採用案内2020を配布します
職種別の仕事内容や職員紹介、試験日程などを掲載した山形県職員採用案内を3月2日(月)から配布します。

◆配布場所 県庁(1階受付、15階人事委員会事務局)、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京・大阪・名古屋)

※県ホームページからもダウンロードできます。



●人事委員会事務局 ☎023(630)2782

募集

「べにサボやまがた」相談員募集

「べにサボやまがた」は、性暴力被害者を支援する団体です。心身ともに健康で、被害者支援に理解のあるボランティア相談員を募集します。

◆応募資格 県内にお住まいの20歳以上の女性(勤務場所は山形市内です)

◆活動内容 月1~2回程度の相談電話当番、関係機関への付添い等

◆募集期間 毎年3月1日~4月15日

●消費生活・地域安全課 ☎023(630)2460

臨時看護職員の募集

出産・育児などで長期休暇を取得する看護職員に代わって働いてくださる方を随時募集しています(パートタイム勤務可)。

Table with 2 columns: 施設名 (e.g., 県立中央病院) and 電話番号 (e.g., 023(685)2626).

●県立病院課 ☎023(630)3103

催し物

山形ワークフェスin東京

県内に本社または就業場所を有する企業が各日70社程度参加します。

◆日時 3月7日(土)午前11時~午後4時

おいしい山形 インフォメーション

3月8日(日)午前11時30分~午後4時
※初日と2日目で企業が異なります。
企業の一覧は県ホームページをご確認ください。

※両日とも、午前は就職支援セミナー、午後は合同企業説明会となります。

◆会場 新宿エルタワー30Fサンスカイルーム(東京都新宿区)

◆対象 2021年3月に大学等を卒業予定の学生、U1Jターン希望者等

●雇用対策課 ☎023(630)2375

やまがた合同企業説明会2021

県内に本社または就業場所を有する企業が各日140社程度参加します。

◆日時 3月18日(水)、19日(木)
午後1時~4時30分

※初日と2日目で企業が異なります。
企業の一覧は山形労働局ホームページをご確認ください。

※19日のみ企業説明会前(午前10時45分~11時45分)に、就活セミナーを開催します。

◆会場 国際交流プラザ山形ビッグウイング(山形市)

◆対象 2021年3月に大学・短期大学・専修学校・高等専門学校を卒業予定の学生

●雇用対策課 ☎023(630)2711

「日本一美酒県 山形」フェア

県内52の酒蔵と15のワイナリーが大集合!やまがたの美食・美酒を心ゆくまでお楽しみください。

◆日時 3月21日(土)午前10時~午後5時
3月22日(日)午前10時~午後4時

◆会場 国際交流プラザ山形ビッグウイング(山形市)

◆内容

- 日本酒・ワインをはじめとした県産酒の試飲・販売、お酒にあう山形ならではの食べ物や工芸品の販売等
●日本酒・ワインの試飲にはチケット(前売券2,000円)が必要です。詳しくは下記へ。

日本一美酒県 山形

●「日本一美酒県 山形」フェア実行委員会(商業・県産品振興課)
☎023(630)2542

3月29日 オープン!

山形県総合文化芸術館 開館記念コンサート 小曾根真×山形交響楽団

国際的ジャズピアニスト・小曾根真を迎え、小曾根自身が2003年に山形のために作曲・初演したピアノ協奏曲「もがみ」などを演奏します。

◆日時 3月29日(日)午後4時開演

◆会場 やまぎん県民ホール (山形県総合文化芸術館)

◆入場料 全席指定(料金はやまぎん県民ホールホームページをご確認ください。)

◆出演 小曾根真、山形交響楽団、村川千秋 ほか

●県総合文化芸術館整備推進課 ☎023(630)2469

お知らせ

車検証の住所変更について

自動車をお持ちの方は住所が変わった場合、車検証の住所変更手続きが必要です。3月末までに手続きをしないと自動車税納税通知書が新住所に送付されます。

Table with 2 columns: 山形ナンバー (山形運輸支局) and 庄内ナンバー (庄内自動車検査登録事務所).

3月末までに手続きが終わらない方は、各総合支庁の税務担当課へ「自動車税住所変更届出書」を提出してください。

●税政課 ☎023(630)2005

3月は「自殺対策強化月間」です

心の健康に関する相談をお受けします。一人で悩まずにご相談ください。

◆こころの健康相談統一ダイヤル ☎0570-064-556

◆受付時間 月~金曜日(祝日除く) 午前9時~正午、午後1時~5時

※3月1日(日)から7日(土)は土日

を含め午前9時から午後5時まで対応します。

◆心の健康インターネット相談

メールによる相談も随時受け付けています。

山形 心の健康 インターネット相談

●地域福祉推進課 ☎023(630)2269

救急電話相談をご利用ください

夜間の急病の際に、電話で看護師や医師から、医療機関への受診や家庭での対処方法のアドバイスを受けられる「救急電話相談」を実施しています。

◆相談日時 毎日 午後7時~翌朝午前8時

◆小児救急相談電話(15歳未満の方対象)

Table with 2 columns: 相談方法 (プッシュ回線・携帯電話) and 電話番号 (#8000).

◆大人の救急相談電話(15歳以上の方対象)

Table with 2 columns: 相談方法 (プッシュ回線・携帯電話) and 電話番号 (#8500).

●地域医療対策課 ☎023(630)3366

県庁舎を見学してみませんか

県民の皆様には山形県や県の仕事への理解を深めていただくため、各種団体やグループを対象に、「県庁見学」を行っています。



山形おもてなし外国語講座 Vol.5

海外から本県を訪れるお客様を、気持ち良くもてなすための、お役立ちフレーズを紹介するコーナー。第5回目は山形は温泉がおすすめです!

5月から最上三十三観音御開帳!

観音様は33の姿になって悩める者の求めに応え、これを救うとされています。これにちなんで、33か所の観音様をお参りする巡礼が全国各地で行われてきました。

最上三十三観音の巡礼のはじまりは室町時代までさかのぼり、国内有数の歴史深い巡礼地となっています。

御開帳について... 御開帳期間は、絶対秘仏の観音堂を除き、普段見ることのできない観音像(本尊)を拝観できます。

●2020年5月1日~10月31日 最上三十三観音御開帳(12年ぶり)

問い合わせ ◎ 観光立県推進課 ☎023(630)2373



山形交響楽団演奏会・プロスポーツゲーム情報

Table for 山形交響楽団演奏会 (Symphony Concert) with columns for date, conductor, and venue.

Table for 庄内定期演奏会 (Saiwai Regular Concert) with columns for date, conductor, and venue.

Table for 第284回定期演奏会 (284th Regular Concert) with columns for date, conductor, and venue.

●前売券:自由席4,200円 ほか(第284回定期演奏会から全席指定に変更。B席4,300円 Bペア7,400円 ほか)

●詳しくは 山形交響楽団

●県民文化スポーツ課 ☎023(630)2306

※前売券は、コンビニエンスストアなどお買い求めいただけます。ただし、店舗により取り扱っていない場合があります。

Table for サッカーJ2 (Soccer J2) with columns for date, time, and opponent.

●会場:NDソフトスタジアム山形(天童市)
●詳しくは モンテディオ山形

Table for プロバスケットボールB2リーグ (Pro Basketball B2 League) with columns for date, time, and opponent.

●会場:県総合運動公園(天童市)
●詳しくは バスラボ山形ワイヴァンズ

●県民文化スポーツ課 ☎023(630)2284

※前売券は、コンビニエンスストアなどお買い求めいただけます。ただし、店舗により取り扱っていない場合があります。



やまがた DENSETSU 伝説

山形はこんにやく消費が日本一 玉こんにやくは、県民のソウルフード!



山形県民はこんにやくが大好きです。その証拠に、こんにやくへの支出金額は、全国の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング（2016～2018年）で、山形市が3,670円と2位の青森市（2,652円）を大きく引き離し堂々の1位です。地域のお祭りや行事で見かける玉こんにやくは、県内の観光地であれば必ずといっていいほど売られています。また、山形名物の芋煮の材料としてもこんにやくは欠かせない存在です。



山形が日本一!?
こんにやくへの支出は



玉こんにやくは
何をヒントに
作られたか知ってる?


こんにやくは、平安時代に山寺立石寺を開いた慈覚大師が山形に伝え、広めたとの説があります。今ではすっかりおなじみの玉こんにやくが誕生したのは、明治20年頃。ヤマコン食品創業者の長谷川松四郎氏が、おやつのように気軽に食べられるようにと、「みたらしだんご」をイメージして考案しました。これを初市やお祭りで販売したところ評判となって県内各地に普及し、現在は首都圏にまで広がっています。

平こんにやくは、こんにやく芋を糊状に加えたこんにやく糊を型に入れて作ります。一方の玉こんにやくは、以前は型に入れる代わりに、人が手作業で丸めてお湯に放り込



玉こんにやくは、
こんにやく糊を丸めて
ゆでて出来上がるんだよ!

んで作っていました。戦後、自動的に丸くできる、業界初の玉こんにやく製造機が開発されて、大量生産が可能になりました。花見やお祭り、お盆や年末年始の人が集まる時期は、普段の倍近い量の玉こんにやくが作られるそうです。



大きくて弾力がある
生玉こんにやくも
ぜひ食べてみてください

玉こんにやくの話をお聞きした
長谷川 晃一 さん
ヤマコン食品有限会社 代表取締役社長

当社の玉こんにやくづくりは、130年の歴史があります。最近では加熱処理しない「生玉こんにやく」が人気です。山形県観光物産市や花笠まつり、日本一さくらんぼ祭りに出店し、キンキンに冷たい玉こんにやくを提供しています。

